

東京日英学院

2020年度 自己点検・評価表

A：達成されている B：ほぼ達成されている C：改善に取り組んでいる D：取り組みを検討している

1. 教育の理念・目標

評価

1-1	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	A
1-2	その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	A
現状・課題	本校は、外国人に対する日本語教育を行い、相互理解の深化を図り、国際交流の発展に寄与することを目的としている。入国から進学・就職という新たなステージまで徹底的にサポートを行い、国際社会で活躍できる人材を育成する。	

2. 学校運営

評価

2-1	日本語教育機関の告示基準は満たしているか	A
2-2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	A
2-3	組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	A
現状・課題	告示基準を満たした教員数を配置している。また事務職員においては、学生数の多い国籍（ベトナム、中国）の同国出身の事務職員を雇用している。生徒の希望に合わせて、通常の授業外の時間でもJLPT・EJU・面接対策等、ニーズに応えられるよう努めている。勤怠管理や財務管理等、あらゆる業務において、電子システムを順次導入している。	

3. 教育活動

評価

3-1	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	A
3-2	生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	B
3-3	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となり、運用されているか	B
3-4	教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善のための取り組みが行われているか	C
現状・課題	日本の大学、専門学校等への進学を目標としたコースを設置しており、各期初級から上級まで体系的に学習するカリキュラムが設定されている。主教材の各課、各レベルの修了毎に試験を実施し、生徒の学習到達度を随時確認している。教員研修等の取り組みは頻度が低くなったため、今後積極的に実施していく必要がある。	

4. 学修成果

評価

4-1	生徒の日本語能力の向上が図られているか	A
4-2	生徒の日本語能力が機関が定める到達目標に達しているか	B
4-3	生徒の進路を適切に把握しているか	A
現状・課題	先述した各定期テストやJLPT・留学試験の模擬試験、通常時間外のサポート等で日本語能力の向上を図っている。各試験別の一覧で生徒の成績を把握し、合格に至らなかった生徒は特に弱点の克服、成績アップに努めている。進路についても共有のフォルダで全職員が閲覧できるようにしている。	

5. 生徒支援

評価

5-1	生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	A
5-2	健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	A

5-3	防災や緊急時における体制が整備されているかといった観点	A
現状・課題	進路担当・生活指導担当、それぞれメイン・サブの職員が常駐しており、常時学生の相談に応えられるよう環境整備をしている。健康管理については年1回の健康診断を行い、異常がある場合は職員が引率し、対応している。防災面においては、校外学習として防災センターへ行き、地震や火災の疑似体験をし、防災意識を高める等の取り組みを行っている。緊急時は生徒の連絡先を複数把握し、連絡漏れがないよう備えている。	

6. 教育環境

評価

6-1	日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	B
6-2	教材は適切か、学習効率を図るための環境整備がなされているか	B
現状・課題	最寄り駅徒歩1分と駅からのアクセスが良く、周辺環境も静かなため立地は良いと言える。基本的な施設は基準に適合しているので問題ないが、学習環境（視聴覚教材等）の充実を図りたいと考えている。主教材に関しても、長年使っている、他校も使っている、等の理由で同じ教材を使い続けているが、差別化を図りたい。	

7. 入学者の募集

評価

7-1	入学者の募集は適切に行われているか	A
7-2	募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	A
7-3	授業料等は適切か	A
現状・課題	コロナにより出張による面接ができなくなってしまったが、ビデオ通話にて学校説明会及び実施している。2020年4月に募集要項を改定し、新料金を改定したが、全職員が共有し、各募集担当は各仲介業者、留学希望者に速やかに周知した。新料金は、他校の金額のリサーチ、仲介業者へのヒアリングの上設定した。	

8. 財務

評価

8-1	中長期的に財務基盤は安定しているか	C
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B
8-3	財務について会計監査は適切に行われているか	A
8-4	財務情報の公開の体制はできているか	C
現状・課題	東南・南アジア諸国の留学ビザの厳格化、コロナの影響等により、収支計画に大きな狂いが生じた。顧問税理士・会計士と財務面、収支計画の見直しを図っている。	

9. 法令遵守

評価

9-1	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営を行っているか	A
9-2	個人情報の保護の取組をを適切に行っているか	B
9-3	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	B
現状・課題	本校は設置基準を満たしており、適正校の認定を受けている。生徒の入学、退学、ビザ変更等、各種管理、報告を行っている。個人情報保護については、HP、SNS、紙面いずれも複数人での確認を怠らず、管理運用に努めている。	

10. 地域貢献・社会貢献

評価

10-1	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行っているか	C
現状・課題	今後、地域貢献・社会貢献の場を積極的に広げていく必要がある。また地域の方との異文化交流、ボランティアの場等も積極的に模索する。	